

別紙1 取組メニュー別 証拠書類（5年間必ず保管する書類）

区 分	証 拠 書 類 の 内 容
共通 ※「取組の中間報告」、 「実施状況報告」に添付 は不要	○取組メニューを実施（強化・拡大も含む）した品目のほ場毎の 施肥管理記録（様式は定めないが、実施（強化・拡大を含む） した取組メニュー内容、栽培品目、ほ場名もしくは番号、作業 日、肥料名、施用量が必ずわかる記録） ※拡大強化の場合は前年度の内容も必要 ○取組メニューを実施した品目の出荷・販売伝票 ○取組メニューを実施したことを証明する書類
土壌診断に基づく施肥 設計	○土壌診断結果（事業年の5年前までに実施されたものも可） の写し ※診断日が必ずわかるもの ○診断結果に基づき実施した施肥設計書 ※対象作物が必ずわかるもの
作物の生育診断に基づ く効率的施肥	○生育診断結果の成績書の写し （作物名、診断者、ほ場名、診断日、診断方法、診断結果、診 断結果に基づく施肥量の改善内容等の記録）
地域の低投入型の施肥 設計の導入	○導入した低投入型施肥暦 ○新たに取組む場合はこれまで使用していた施肥暦
堆肥の利用	○堆肥の購入伝票の写し ※自給堆肥を施用する場合は散布時写真
汚泥肥料の利用（下水汚 泥等）	○汚泥肥料の購入伝票の写し
食品残渣など国内資源 の利用（堆肥、汚泥肥料 以外）	○対象肥料の購入伝票の写し
有機質肥料（指定混合肥 料等を含む）の利用	○有機質肥料の購入伝票の写し
緑肥作物の利用	○緑肥種子を購入した伝票の写し ※取組を長年実施しており、播種を実施しなくても効果が期待で ける生育量が見込める場合は、生育状況がわかる写真
肥料施用量の少ない品 種の利用	○対象品種の種苗の購入伝票の写し ○取組を実施した年度（作型）の作付品種の一覧（様式は自由） ○取組を実施した年度（作型）の対象品種と基準品種の栽培暦等 （10aあたりの施用量の低減が判断できる資料）

<p>低成分肥料(単肥配合を含む)の利用</p>	<p>○低成分肥料の購入伝票の写し          ※自ら単肥配合した場合は、配合した肥料を購入した伝票の写し          ○新たに取り組む場合は、これまで使用していた肥料銘柄がわかるもの(NPK成分の比較が可能なもの)          ※単肥配合の場合は、配合したNPK成分の比較が可能なもの</p>
<p>可変施肥機の利用</p>	<p>○可変施肥機を利用している写真          ※リースもしくは作業委託の場合は契約書の写しも添付</p>
<p>局所施肥の利用</p>	<p>○局所施肥を実施している写真          ※リースもしくは作業委託の場合は契約書の写しも添付</p>
<p>育苗箱(ポット苗)施肥</p>	<p>○育苗箱施肥に利用した肥料の購入伝票の写し          ○専用機械を使用した場合は使用時の写真</p>
<p>化学肥料の使用量及びコスト削減の観点から施肥量・肥料銘柄の見直し</p>	<p>○従来の施肥実績と取組メニューにより実施した施肥実績が比較できる資料 ※10aあたり          ○コスト削減の観点であれば、従来の施肥実績と取組メニューにより実施した施肥実績のコストが比較わかる資料          ※NPK成分量総量の10a当たりコスト</p>
<p>実施計画の申請時に既に全作付面積の半分以上を占める作物において化学肥料の低減に相当程度の実績がある旨申請した者</p>	<p>計画申請翌年の以下の資料の写し          ○エコやまぐち農産物認証取得者          エコやまぐち農産物生産認証通知          ○有機JAS認証取得者          有機JAS認証票          (取得した作物名が認証票に記載されていない場合は、認証を取得した作物名がわかる書類)          ○環境保全型農業直接支払交付金受給者          所属する農業者団体が市町に提出した「営農活動実績報告書」もしくは「実施状況報告書」の写し          ※実施状況報告書の場合は、市町が農業者団体に通知した「環境保全型農業直接支払交付金に係る実施状況確認結果通知書」の写しも併せて添付する</p>